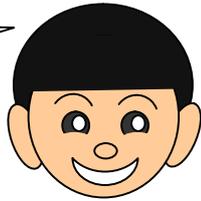


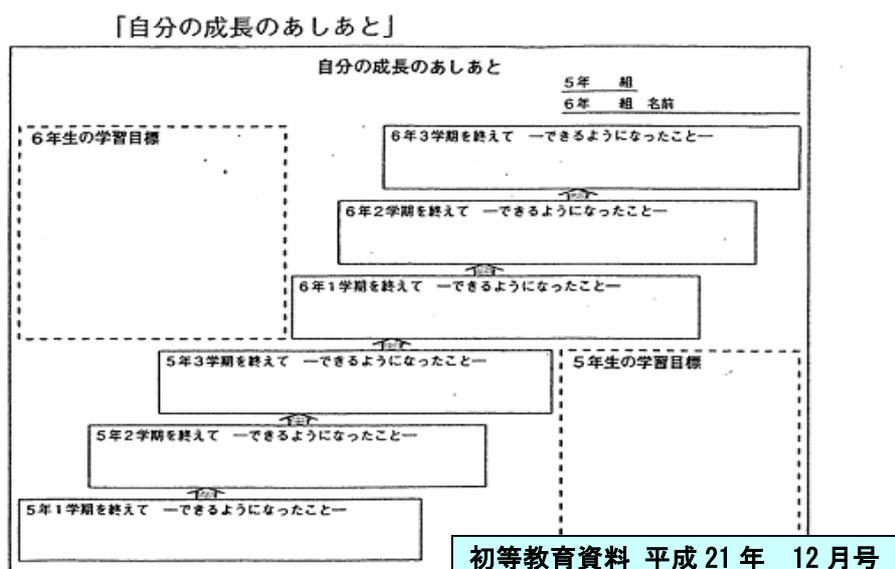
2 授業計画例

A 家庭生活と家族

項目	A(1) 自分の成長と家族	
事項	<p>ア 自分の成長を自覚することを通して、家庭生活と家族の大切さに気付くこと。</p> <p>(指導計画の作成)</p> <p>「A家庭生活と家族」の(1)のアについては、第4学年までの学習を踏まえ2学年間の学習の見通しを立てさせるために、第5学年の最初に履修させるとともに、「A家庭生活と家族」から「D身近な消費生活と環境」までの学習と関連させるようにすること。</p>	
評価規準の設定例	関心意欲態度	<p>ア 第4学年までの学習を振り返り、家庭科の学習に関心をもち、2学年間の見通しをもって学習に取り組もうとしている。</p> <p>衣食住などの学習活動を通して、自分の成長と家族に関心をもち、家庭生活と家族の大切さに気付いている。</p>
	創意工夫	
	技能	
	知識理解	
小⇄中の関連	<p>【中学校】</p> <p>A(1)ア 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわり</p> <p>A(2)ア 家庭や家族の基本的な機能</p> <p>A(2)イ これからの自分と家族とのかかわり</p> <p>・第6学年の終わりの学習においては、さらに、家庭生活をよりよくするための課題を中学校技術・家庭科の内容と結び付けてとらえられるようにし、中学校への円滑な接続が図れるように配慮することも考えられる。</p>	
指導内容	<p>※ガイダンスとして扱う場合</p> <p>2学年間で学習する内容に触れ、第4学年までの他教科の学習との関連や、これからの学習を通して自分ができるようになりたいことや、2年後の自分をイメージすることなども考えられる。</p> <p>いよいよスタート!! わたしたちの家庭科</p> <p>どんな勉強するのかな? ワクワク!</p> <p>・「家庭科って何? どんな勉強をするのかな?」 ・2年間の家庭科学習の見通しを立て、自分の目標をもとう。</p> <p>↓</p> <p>自分の生活を見つめてみよう</p> <p>プライバシー(家族構成や成育歴等)に十分配慮する。</p>	
活動例	<p>・これまでの自分の成長や生活を振り返ってみよう。</p> <p>・家族や自分の1日の生活を振り返って、気付いたことを話し合おう。</p>	

<p>指導内容</p> <p>活動例</p>	<p>※内容A～Dと関連させて扱う場合</p> <p>例えば、2学年間を見通して学期や学年の終わりなど学習の区切りの適切な時期に、実践記録などから学習の成果を振り返ることを通して、自分の成長への気付きが段階的に深まるようにすることなどが考えられる。</p> <p>自分ができるようになったことを振り返ろう</p> <p>家族のために、どんなことをしようかなあ。 どんなことをしたら喜んでくれるかなあ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分ができるようになったことを振り返ってみよう。 ・これまでの家庭科の学習を通して、自分ができるようになったことを生かし、お世話になった方へ贈り物をしよう。 ・贈り物を作る計画を立て、作ってプレゼントしよう。 
<p>安全指導</p>	
<p>家庭・地域との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のこれまでの成長について家族にインタビューする。 ・自分や家族の日常生活について家族にインタビューする。 ・できるようになったことを振り返る活動で、家族からの言葉をワークシート等書いてもらう。
<p>言語事項</p>	<p>家庭科 家庭 家族 家庭生活 衣食住</p>
<p>発展的な学習</p>	

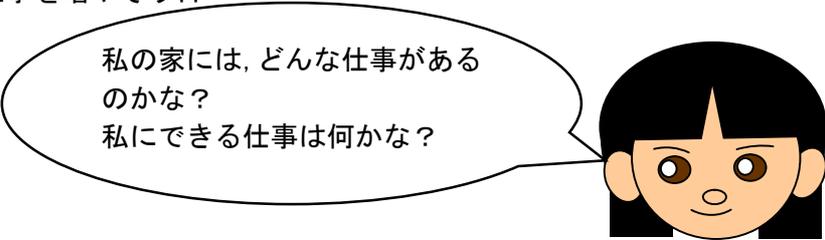
【参考】「ガイダンスで使うワークシート例」



「自分の成長のあしあと」として、成長の記録を残していくワークシート

「A 家庭生活と家族」から「D 身近な消費生活と環境」の学習を貫く視点として「自分の成長」を位置付け、適切な時期に各内容と関連させて扱うようにしている例

A 家庭生活と家族

項目	A(2) 家庭生活と仕事	
事項	<p>ア 家庭には自分や家族の生活を支える仕事があることが分かり、自分の分担する仕事ができること。</p> <p>イ 生活時間の有効な使い方を工夫し、家族に協力すること。</p>	
評価規準の設定例	関心意欲態度	<p>ア 自分の分担する家庭の仕事に取り組もうとしている。</p> <p>イ 自分や家族の生活時間を調べたり、見直したりして、家族と共に過ごしたり家族の生活に協力したりしようとしている。</p>
	創意工夫	<p>ア 家庭の仕事を見直し、自分の分担する仕事の計画について考えたり、実践を通して自分なりに工夫したりしている。</p> <p>イ 自分の生活時間の使い方を見直し、有効な使い方を考えたり、自分なりに工夫したりしている。</p>
	技能	
	知識理解	ア 家庭には、衣食住に関する仕事があり、自分や家族の生活を支えていることを理解している。
小⇄中の関連	<p>【中学校】</p> <p>A(2)ア 家庭や家族の基本的な機能、家庭生活と地域とのかかわり</p> <p>A(2)イ これからの自分と家族、家族関係をよりよくする方法</p> <p>A(3)エ 家族又は幼児の生活についての課題と実践</p>	
指導内容 活動例	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: #ADD8E6; display: inline-block; padding: 2px 5px;">やってみよう！わたしの仕事</p></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭には自分や家族を支える仕事があることを知り、自分が分担する仕事を実践してみよう。 ・家庭の中の仕事調べをしよう。誰が、どんな仕事をしているだろう。 ・自分の仕事を見つけて、実践してみよう!! ・自分ができる仕事を増やそう!! <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>私の家には、どんな仕事があるのかな？ 私にできる仕事は何か？</p> </div> <p>< 例 ></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>B(3)と関連させ、湯を沸かし、お茶を入れてみる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>C(1)と関連させ、体操服をたたんでみる。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>B(3)と関連させ、食事の後、食器を洗ってみる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>C(2)と関連させ、風呂そうじを試してみる。</p> </div> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">などの学習も考えられる。</p> </div>	

<p>指導内容</p> <p>活動例</p>	<p>わが家の 24 時間</p> <p>家族構成や家族の就業状況等，児童を取り巻く環境に十分配慮する。</p> <p>・自分と家族の生活時間の使い方を調べ，どのように家族に協力していけばよいか，生活時間の有効な使い方を考えよう。</p> <p>「B 日常の食事と調理の基礎」，「C 快適な衣服と住まい」，「D 身近な消費生活と環境」の学習と関連を図り，家族の生活とかがわらせながら衣食住の内容を取り扱うことが考えられる。</p> <p>例えば，「B 日常の食事と調理の基礎」，「C 快適な衣服と住まい」の内容との関連を図り，衣食住にかかわる仕事を実践することで，自分ができる仕事を増やしたり，家族に協力しようとする意欲を高めたりすることが考えられる。</p>
<p>安全指導</p>	<p>・こんろ，調理用具の使い方（「B 日常の食事と調理の基礎」と関連させる場合）</p> <p>・針やはさみなどの裁縫用具の使い方（C の (3) 生活に役立つ物の製作と関連させる場合）</p>
<p>家庭・地域との連携</p>	<p>・家庭の仕事にはどんなものがあるか調べてみよう。</p> <p>・家族の生活時間を調べてみよう。</p>
<p>言語事項</p>	<p>家庭の仕事 手伝い 生活時間 団らん</p>
<p>発展的な学習</p>	

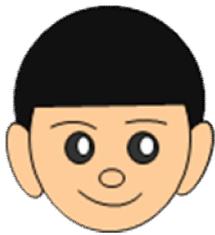
【参考】

A (1) 「自分の成長と家族」のアと関連を図った題材構成

— 第 5 学年 —		
● 家庭の仕事にトライしよう		(15 時間)
・ 温野菜サラダにトライしよう	B (1) アイ (2) ア (3) アイウオ	
・ 手縫いにトライしよう	C (3) イウ	
・ 整理整頓にトライしよう	C (2) ア	
・ チャレンジ夏休み (報告会)	A (1) ア	(1 時間)
● できるようになったことを振り返ろう	A (1) ア	(1 時間)
— 第 6 学年 —		
● 我が家の快適生活		(9 時間)
・ エコ・クール生活にチャレンジ	C (2) イ D (2) ア	
・ 衣服のリフレッシュ大作戦	C (1) アイ	
・ チャレンジ夏休み (報告会)	A (1) ア	(1 時間)
● 2 年間で振り返ろう	A (1) ア	(1 時間)

A (1) のア 成長の自覚，家庭生活と家族の大切さと 関連を図りながら，「家庭の仕事」に取り組む題材構成の例。「家庭の仕事にトライしよう」ということで，サラダづくり(B)，手縫い(C)，整理整頓(C)，エコ・クール生活(D) などに取り組んだ後，できるようになったことを振り返っている。また，適切な時期に「自分の成長」を振り返っている。

A 家庭生活と家族

項目	A (3) 家族や近隣の人々とのかかわり
事項	ア 家族との触れ合いや団らんを楽しくする工夫をすること。 イ 近隣の人々とのかかわりを考え、自分の家庭生活を工夫すること。
評価規準の設定例	<p>関心意欲態度</p> <p>ア 家族との触れ合いや団らんに関心を持ち、家族に気持ちを伝えたり触れ合う場をもったりしようとしている。</p> <p>イ 自分の家庭生活と近隣の人々との関わりについて関心をもっている。</p>
	<p>創意工夫</p> <p>ア 家族との触れ合いや団らんを楽しくすることについて考えたり、自分なりに工夫したりしている。</p> <p>イ 近隣の人々との関わりについて見直し、快適に生活するための方法について考えたり、自分なりに工夫したりしている。</p>
	<p>技能</p>
	<p>知識理解</p> <p>ア 家族との触れ合いや団らんの大切さについて理解している。</p> <p>イ 家庭生活が近隣の人々との関わりで成り立っていることや協力し助け合っていく必要があることについて理解している。</p>
小⇄中の関連	<p>【中学校】</p> <p>A (2) ア 家庭や家族の基本的な機能、家庭生活と地域とのかかわり</p>
指導内容 活動例	<p style="text-align: center;">〇〇家の団らんの時間を楽しく工夫しよう！</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">家族や親しい人と、なごやかな時間を過ごすことを「団らん」って言うんだね！</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・我が家の団らんを工夫しよう！ ・家族団らんの時間を楽しくする工夫をして、計画を立て、実行しよう！！ ・家族みんなが喜ぶパーティーの計画を立てよう！！ </div> <p>例えば、「B 日常の食事と調理の基礎」や C (3) 「生活に役立つ物の製作」と関連させ、家族のために食事をつくることや、家族が使える物や家族への贈り物を製作するなどの活動が考えられる。</p> <p style="text-align: center;">自分の生活や地域の生活を見つめてみよう！！</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・調べてみよう ご近所さん！！ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>近隣の人々とのかかわりを考えるが、常に、自分の家庭生活との結び付きを考えながら学習する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のルールやマナー、行事などを調べ、自分がどのようにかかわったらよいか考えよう。 </div> <p>C (2) 「快適な住まい方」や D (2) 「環境に配慮した生活の工夫」と関連させ、近隣の人々と快適に生活できるように、生活環境に配慮した方法を自分の家庭生活において工夫し実践するなどの活動が考えられる。</p>

安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ こんろ，調理用具の使い方（「B 日常の食事と調理の基礎」と関連させる場合） ・ 針やはさみなどの裁縫用具の使い方（C (3)「生活に役立つ物の製作」と関連させる場合）
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭での団らんを計画し，実践して，家族からコメントをもらおう。 ・ 自分の住む地域のルールやマナーを調べてみよう。
言語事項	触れ合い 団らん コミュニケーション 生活環境 近隣
発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の活動に参加する。 ・ 地域の生活環境調査をする。

【参考】

評価規準作成のための参考資料

【「(3) 家族や近隣の人々とのかかわり」の評価規準の設定例】

家庭生活への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族との触れ合いや団らんに関心をもち，家族に気持ちを伝えたり触れ合う場をもったりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族との触れ合いや団らんを楽しむことについて考えたり，自分なりに工夫したりしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族との触れ合いや団らんの大切さについて理解している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の家庭生活と近隣の人々とのかかわりに関心をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣の人々とのかかわりについて見直し，快適に生活するための方法について考えたり自分なりに工夫したりしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭生活が近隣の人々とのかかわりで成り立っていることや協力し助け合っていく必要があることについて理解している。

アとイの区分

事項アに対応

事項イに対応

学習指導要領解説の文言を使っている。

家族との触れ合いや近隣の人々とのかかわりについては，基本的に「家庭や地域での実践を通して」ということになり，評価は，原則「学校の授業」の中で行うものなので，「技能」としては評価しない。

A 家族・家庭と子どもの成長

項目	A(1) 自分の成長と家族	
事項	ア 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考えること。	
	(内容の取扱い) ア (1), (2) 及び(3)については, 相互に関連を図り, 実習や観察, ロールプレイングなどの学習活動を中心とするよう留意すること。	
評価規準の設定例	関心意欲態度	ア 小学校の学習を振り返り, 3 学年間の見通しをもって学習に取り組もうとしている。自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気付いている。
	工夫創造	
	技能	
	知識理解	
小⇄中の関連	【小学校】 A(1)ア 成長の自覚, 家庭生活と家族の大切さ	
指導内容 活動例	<p>* ガイダンスとして扱う場合</p> <p>自立と共生を目指して</p> <p>家庭分野の内容を学習することが、一人一人の生活の自立や家族と共に家庭生活を工夫し創造する能力につながることに気付かせ、学習への期待と意欲をもてるようにする。</p> <p>・ 小学校の授業内容についてアンケートを取る。 ・ 3 年間の授業の流れや目的を説明する。 ・ プリントや前年度の生徒作品を使うなどして、分かりやすく説明したい。</p>	
	<p>* A (2) 又は(3)の導入として扱う場合</p> <p>自分の成長を振り返ろう</p> <p>プライバシーに十分配慮する。</p> <p>自分の成長や生活は、家族やそれにかかわる人々に支えられてきたことに気付くようにする。</p> <p>・ 自分の成長のあしあとをまとめる。 ・ DVD など(生命誕生などを扱ったもの)を視聴し感想を書く。 ・ 自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて振り返ることができるような物語や詩などを読んだり, DVDなどを視聴したりする。 ・ 自分が成長するときに誰と関わってきたのかをまとめる。 ・ 物語などの家族会話の場面をロールプレイングし、子どもと家族の関わりを考える。</p> <p>物語を活用したり, 自分の成長とそれにかかわってきた人々を図に表したりして, 成長過程を振り返るなどの活動も考えられる。</p>	
安全指導		
家庭・地域との連携	・ 家族や周りの人々に誕生した日のことや幼い頃のことをインタビューする。	
言語事項	家族 自立 家庭生活 幼児期	
発展的な学習		

【 参 考 】「ガイダンスで使う資料例」

「自立」した自分

技術・家庭科（家庭分野）

衣生活・住生活 「制服…どうやって手入れする?」「20年後の我が家は?」

- ★ほころんだところを直すには?
- ★家族と共に安全で快適に住むには?

食生活 「背を伸ばしたい!」「体力をつけたい!」「健康な体で生きたい!」

- ★自分の成長と健康のためにどんなものを食べたらいい?
- ★作ってみよう健康な体のための食事

15歳
(義務教育終了)

14歳

13歳
(中学生)

消費生活・環境 「どこでどのように買う?」「地球のためにできることは?」

- ★賢い消費者になろう。
- ★省エネについて考えてみよう。

家族・家庭生活 「人間は生まれたときから人間?!」

- ★自分はどのように成長してきたのだろう。
- ★幼児ってどんな人?
- ★家族との関係を考えてみよう。

この部分を空欄にして、学んだことを記入し、学びのあしあとを残すワークシートにしてもよい。

小学校家庭科（12歳まで）			
家族・家庭生活	食生活	衣生活・住生活	消費経済・環境
◇毎日家族にあいさつをしている。 ◇お手伝いをしている。 ◇近所の人に会ったらあいさつをしている。 ◇地域の行事に参加したことがある。	◇ご飯を炊いたり、みそ汁を作ったりすることができる。 ◇包丁を正しく使うことができる。 ◇五大栄養素が言える。 ◇家族に食事を作ってあげたことがある。	◇季節に応じた着方ができる。 ◇季節に応じて室内の環境を快適にすることができる。 ◇ボタンを付けることができる。 ◇ミシンを使うことができる。 ◇身の回りの整理整頓ができる。	◇表示を見て買い物をしている。 ◇物を大切に使っている。 ◇ゴミの分別をしている。 ◇計画的な買い物をしている。
*あなたは家庭でどんな仕事をしていますか? ()	*調理実習では何を作りましたか? ()	*布を使ってどのような物を作りましたか? ()	*買い物をする時にどんなことに気を付けていますか? ()

誕生

<指導のポイント>

家庭科の学習において今の自分にはどのような知識や技術が身に付いているのか、小学校の学習を振り返りながら見つめ直していきます。小学校での学習を土台とした中学校では、「自立」に向けて家庭分野でどのようなことを学んでいくのか教師が説明したり、どのような知識や技術を身に付けていくべきか話し合ったりしながら、今後の学習の見通しを持つことができるように指導していきます。

A 家族・家庭と子どもの成長

項目	A (2) 家庭と家族関係	
事項	<p>ア 家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解すること。 イ これからの自分と家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくする方法を考えること。</p> <p>(内容の取扱い)</p> <p>ア (1), (2) 及び(3)については、相互に関連を図り、実習や観察、ロールプレイングなど学習活動を中心とするよう留意すること。 イ (2)のアについては、高齢者などの地域の人々とのかかわりについても触れるよう留意すること。</p>	
評価規準の設定例	関心意欲態度	<p>ア 家庭生活と地域との関わりに関心を持ち、地域の人々との関わりについて話し合うことなどを通して、地域の人々とのつながりの大切さに気付いている。 イ これからの自分と家族との関わりに関心を持ち、家族関係をよりよくするためにできることを実践しようとしている。</p>
	工夫創造技能	<p>イ 自分の生活や事例の家族について課題を見付け、家族関係をよりよくする方法について考え、工夫している。</p>
	知識理解	<p>ア 家庭や家族の基本的な機能について理解している。 家庭生活が地域の人々とのつながりの中で成り立っていることを理解している。</p>
	小⇔中の関連	<p>【小学校】</p> <p>A (2) ア 家庭の仕事と分担 A (2) イ 生活時間の工夫 A (3) ア 家族との触れ合いや団らん A (3) イ 近隣の人々とのかかわり</p> 
指導内容 活動例	<p>家族って何だろう プライバシーに十分配慮する。</p> <p>・物語やマンガ、ドラマの家族を調べ、それぞれの家族の違いについて意見交換する。(どの家族と暮らしてみたいかなどを話し合う。)</p> <p>家庭生活と地域とのかかわりについて考えよう</p> <p>・小学校の復習をしながら、自分の一日の生活を振り返り、家庭の働きを確認する。 ・家庭を支える地域の活動(子供会、敬老会、伝統行事、体育祭、防災訓練、地域の清掃、ボランティア活動など)を調べ、自分と地域の人々との関わりについて話し合う。 ・中学生に成長するまでに地域の人に助けられたことを話し合い、自分に求められていることや地域のためにできることについてまとめる。</p> <p style="text-align: center;">地域の高齢者に聞き取り調査を行う方法もある。</p> <p>これからの自分と家族との関わりを考えよう プライバシーに十分配慮する。</p> <p>・物語をもとに、ロールプレイングを行い、家族それぞれの立場、役割について話し合う。 ・自分の家族の問題について考え、各自解決策を考える。</p> <p style="text-align: center;">将来の家庭生活や家族とのかかわりに期待をもてるようにまとめる。</p>	

安全指導	・地域に出かけるときの交通安全
家庭・地域との連携	・地域の活動調べ ・地域の高齢者へのインタビュー
言語事項	核家族 三世代家族 高齢者 安らぎ
発展的な学習	・地域住民の活動や交流会に参加する。 ・家庭の働きを考えると、テーマをもとにディベート形式での話し合いをする。 ・中学校に高齢者を招待して地域の活動について話をしてもらう。

【 参 考 】 ●家族とは？

様々な家族の形があり、家族の条件として血縁や生計を同じにする者というだけではなく、愛情なども家族の絆を結ぶ重要な要素になっていることに気付かせることができる。家族に対する多様な考え方について、意見を交換することを通して家族の在り方について考えを深めていくことが目的である。家族の形として挙げる例については、クラスの状況に応じプライバシーに配慮して項目を選ぶ。

あなたは誰を「家族」と考える？	
例えば…	家族なら○
親	
兄弟姉妹	
同居している祖父母	
同居していない祖父母	
単身赴任中の親	
県外の大学に行っていて今は一緒に住んでいない兄弟	
ペット	
親が再婚した。その相手の同じ年齢の子ども	
夫婦別姓の夫婦関係	
のび太と一緒に暮らすドラえもん	
現在40歳。中学時代に仲のよかった友達（同性）に会い、二人で一緒に暮らすことになった。この関係は？	

なぜそう思うのか、話し合ってみましょう。

A 家族・家庭と子どもの成長

項目	A (3) 幼児の生活と家族	
事項	<p>ア 幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解すること。</p> <p>イ 幼児の観察や遊び道具の製作などの活動を通して、幼児の遊びの意義について理解すること。</p> <p>ウ 幼児と触れ合うなどの活動を通して、幼児への関心を深め、かかわり方を工夫できること。</p> <p>エ 家族又は幼児の生活に関心をもち、課題をもって家族関係又は幼児の生活について工夫し、計画を立てて実践できること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(内容の取扱い)</p> <p>ア (1), (2)及び(3)については、相互に関連を図り、実習や観察、ロールプレイングなどの学習活動を中心とするよう留意すること。</p> <p>ウ (3)のアについては、幼児期における周囲との基本的な信頼関係や生活習慣の形成の重要性についても扱うこと。(3)のウについては、幼稚園や保育所等の幼児との触れ合いができるよう留意すること。</p> </div>	
評価規準の設定例	関心意欲態度	<p>イ 幼児の観察や遊び道具の製作などの活動を通して、幼児に関心をもっている。</p> <p>ウ 幼児と触れ合う活動などを通して、幼児に関心をもち、適切に関わろうとしている。</p> <p>エ 家族又は幼児の生活をよりよくすることに関心をもち、課題を主体的に捉え、製作や幼児と触れ合う活動などの計画と実践に取り組もうとしている。</p>
	工夫創造	<p>イ 幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具、遊び方について考え、工夫している。</p> <p>ウ 幼児の心身の発達に応じた関わり方について、観察したことを生かして考え、工夫している。</p> <p>エ 家族又は幼児の生活について課題を見付け、その解決を目指して製作や幼児と触れ合う活動などの計画を自分なりに工夫している。</p> <p>製作や幼児と触れ合う活動などの実践の成果と課題についてまとめたり、発表したりしている。</p>
	技能	<p>ウ 幼児の遊びや幼児の発達と家族との関わりなどについて、観点に基づいて観察し、整理することができる。</p>
	知識理解	<p>ア 幼児の心身の発達の特徴について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体の発育 ・運動の機能 ・言語、情緒、社会性 <p>幼児の発達を支える家族の役割について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの保護 ・情緒の安定 ・社会性 <p>基本的な信頼関係や生活習慣の形成の重要性とそれを支える家族の役割について理解している。</p> <p>イ 幼児にとっての遊びの意義について理解している。</p>
小⇔中の関連	<p>A (1)ア 成長の自覚、家庭生活と家族の大切さ</p> <p>A (3)イ 近隣の人々とのかかわり</p>	
指導内容 活動例	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>幼児の成長について調べ、家族の役割について考えてみよう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の体の発達について、体験コーナー（三輪車に乗る、足形や手形比べ、幼児服や幼児靴比べ、背比べなど）で実体験する。 ・運動機能の発達について、DVD等を参考にまとめる。 ・心の発達（言葉の発達・情緒の発達・社会性の発達）について、どのように身に付けていくのか話し合い、家族はどのように関わればよいのか考えていく。（幼児の会話の様子を写真やDVD等で見ながら、幼児の気持ちを考える。） </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>	

- ・生活習慣（基本的・社会的）を身に付けていく様子をDVD等で視聴し、どのように幼児に接していけばよいかを話し合う。
- ・子どもと家族の関わりについて、物語を参考にロールプレイングしながら、子どもの成長にとって家族の果たす役割について考える。（家族や周囲の大人の愛情や関わりが大切であることにつなげていく。）

幼児の心身の発達の特徴とそれを支える生活について知るとともに、幼児期における周囲の人との基本的な信頼関係や生活習慣の形成の重要性について考えることを通して、幼児にふさわしい生活を整える家族の役割について理解できるようにする。



幼児の遊びについて考えてみよう

- ・幼児の観察をする。（保育所や幼稚園訪問するとよいが、困難な場合には、DVD等を視聴するなどして、様子が分かりやすいよう工夫する。）
- ・幼児を観察したり、遊んだりすることを通して、発見したことを話し合う。（遊び方、友達との関わり方、遊ぶ人数、おもちゃ、言葉、遊び場、ルールなど）
- ・幼児と触れ合うための遊び道具を製作する。（製作時には、市販のおもちゃや遊具、絵本の他にも、自然の素材や言葉、身体を使った遊び、伝承遊びにも触れたい。）

製作は、幼児についての理解を深めることが最終的なねらいである。



幼児と触れ合ってみよう。

- ・自分の製作したおもちゃで幼児と遊ぶ。
- ・交流したことをまとめる。（気付いたこと・分かったことを話し合い、新聞などにしてもよい。）

- ・生徒が自分なりの課題をもって、幼児の発達の状況に応じたかかわり方を工夫し実践できるようにする。
- ・幼児との触れ合う活動が困難な場合には、視聴覚教材やロールプレイングなどを活用して幼児とのかかわり方を工夫する方法を考えるようにする。

【選択】家族又は幼児の生活についての課題

A(3)エ, B(3)ウ, C(3)イについては、生徒の興味・関心等に応じて1又は2事項を選択して履修させる。

生活を見直す→課題を見付ける→計画する→実践する→評価する→改善する

<課題の例>

- ・地域活動に参加して高齢者と触れ合う。
- ・家族のコミュニケーションを深めるための方法を工夫して計画し実践する。
- ・幼児の遊び道具の製作、間食の調理、簡単な衣服の製作など幼児の生活に役立つ物を計画を立てて作ったり、作ったものを用いて幼児との触れ合いや関わり方を工夫したりする。

<p>指導内容</p> <p>活動例</p>	Content from previous blocks
<p>安全指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遊び道具の製作時の安全指導 ・幼稚園、保育所訪問時の交通安全指導 ・幼児への接し方
<p>家庭・地域との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問活動（幼稚園、保育所、子育て支援センター、育児サークル等）（高齢者施設）
<p>言語事項</p>	<p>幼児 生活習慣 保育所 幼稚園 情緒 社会性 個人差</p>

<p>発展的な学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所や幼稚園の園児を中学校の調理実習などに招待して交流会を持つ。 ・ 保育所、幼稚園の祖父母参観会に参加する。 ・ 中学校に親子を招いて、育児についてのお話を聞き、交流会を持つ。 ・ 妊婦の方や、助産師の方の話を聞き、触れ合う体験。
---------------	--

【 参 考 】「幼児との触れ合い学習における授業活動例」

普段、異年齢の子どもたちと触れ合う経験が少ないので、幼児と触れ合うことに不安を抱えている生徒も少なからずいると思われます。事前学習では、不安を少しでも解消でき、訪問が楽しみになるような授業内容を工夫しましょう。

訪問に行くと、園児が乱暴な言葉で話しかけてきたり、わざとたたいてきたりしました。あなたはどのような関わり方をしたらよいのでしょうか。

ロールプレイングで考えてみよう。

なぜたたいてくるのだろう？



遊んでほしいからじゃない？



幼児の気持ちを考えてあげたいね。

班で考えたロールプレイングを発表しよう。

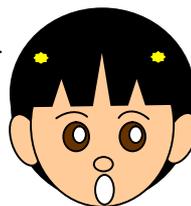
各班で考えたロールプレイングの発表を見て、ふさわしい対応はどの対応だったか、話し合ってみましょう。

【 参 考 】「幼児との触れ合い学習を計画するときの留意点」

- 1 事前学習では、訪問の目的や観察の視点などをはっきりと示し、課題意識を持って体験活動に取り組めるように工夫しましょう。
- 2 学習のねらいを達成させるためには、訪問先の園の先生との事前打合せはとても大切になります。訪問時間や中学生と過ごす時間の日程、どのような関わり方をするのか(事前にペアを決めるなど)、園のきまりや教育方針などを理解し、園との連絡をしっかりとって有意義な体験活動ができるようにしましょう。
また、園までの道順、交通安全についても事前に確認しておきましょう。
- 3 当日の交通安全には十分に気を配りましょう。校長への許可も忘れずにとりましょう。
- 4 訪問後は、お礼状や、中学生の変容の様子や感想などをまとめて園に伝えるようにするとよいでしょう。そして、次年度の訪問につなげましょう。
- 5 園には、触れ合い学習のお願いを正式文書で提出するようにします。園の行事予定もあるので、できるだけ早い時期にお願いの交渉を行い、依頼文書を作成しましょう。(例参照)
- 6 体験したことを各自の課題に沿ってまとめたり、観察の視点ごとにまとめたりして、触れ合い学習をじっくり振り返る時間をとりましょう。体験から感じ取ったことや気付いたことを整理し、共有する活動は、言語活動の充実にもつながります。

園児に自分の名前を覚えてもらうように、名札を付けていくといいね。もちろん、名前はひらがなでね！

ペアさんの名札をペンダントにして作っていくと喜ばれるかも！！
ユニットごまのようなプレゼントもいいなあ～。



折り紙3枚でできる
ユニットごま



<触れ合い学習依頼文書例>

平成〇〇年〇月〇〇日

〇〇〇〇〇〇園
△△△△園長 様

〇〇立〇〇中学校
校長 〇〇〇〇

幼児との触れ合い学習について (お願い)

日頃から本校の教育活動につきまして、御理解、御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、中学2年生の家庭科では保育分野が設定されており、幼児期の子どもの言動や心の成長、遊びの意義などを学び、自分の成長を振り返るとともに、これからの生き方について考えを深めていく学習をしていきたいと考えています。

また、幼児との関わりを体験する中で、相手のことを考えて行動することや人との関わり方についても学ばせたいと考えています。

そこで、普段幼児と接する機会が少なくなっている中学生に、幼児を観察したり直接触れ合ったりする時間を設定し、今後の学習に役立てるための触れ合い学習を下記のとおり計画いたしました。

園務御多忙の折り、大変ご迷惑をおかけするとは思いますが、よろしくお願いいたします。

記

1 日時と体験学習する生徒数

体 験 日	時 間	ク ラ ス	体 験 生 徒 数
平成〇年〇月〇日 (〇)	10:00~11:00	年 長	2年3組(男子17人, 女子18人)
平成〇年〇月〇日 (〇)	10:00~11:00	年 中	2年1組(男子17人, 女子17人)
平成〇年〇月〇日 (〇)	10:00~11:00	年 少	2年2組(男子17人, 女子17人)

2 体験内容 各自の観察の視点に基づき幼児と触れ合う。

3 体験方法 各クラスに中学生を8~15人程度割り振ります。詳しい割振りは、事前に名簿などでお知らせします。

4 引率者 教諭 ◎◎◎◎

5 交通手段 徒歩

6 その他 雨天決行
事前の打合せに〇月〇日〇時より伺います。

連絡先 技術・家庭科担当
◎ ◎ ◎ ◎
TEL 〇〇-〇〇〇〇
FAX 〇〇-〇〇〇〇

幼児との触れ合いレポート (例)

課題意識を持たせて体験活動を行う。

<ペアさんの名前と特徴>

<観察したこと>

* ことば	* 遊び	* 生活習慣	* ところ
-------	------	--------	-------

<活動したこと>

9:10 竹馬を練習していたので手助けした。少しでも上達したことをほめてあげた。

9:20

9:30

9:40

9:50

10:00 園庭に集合してみんなでダンスを踊った。

<感想>

体験学習を通して、訪問前の気持ちとどのような変容があったかつかめるような内容を書かせる。

どのような関わり方の工夫ができたか読み取れる書き方にさせる。